

平成 29 年 12 月 7 日

施設整備部会部長 鶴岡 敦 様

木更津市教育委員会

中郷中学校・清川中学校統合準備会施設整備部会
意見報告に対する回答

施設整備部会が出された意見につきまして、下記のとおり回答いたします。

記

1. 委員より出された意見等の回答について

(1) 引越しに関連して

学校備品（生徒及び教員の机、イス、ロッカー等）を除き、中郷中学校には、校歌碑・学校創立 50 周年記念碑（寄贈を受けたもの）である石碑があり、また池の睡蓮・鯉がいるが、これらは学校に古くからある思い出の品であるので、跡地利用の関係もあるが、出来れば現地に残していただきたい。

学校備品の整理については、平成 30 年の夏休みまでに、教育委員会並びに学校で協力し、必要なもの、不要なもの等を区別したいと考えております。

また、学校の外にある石碑等につきましては、跡地利用が具体的にになった時点で検討したいと考えます。

(2) 学校歴史の継承について

永久保存を行うべきである沿革誌、卒業台帳、成績表、生徒の大会出場のトロフィー、賞状等がある。

これは、中郷中学校が歩んできた概ね 70 年の歴史の財産であるので、この継承、保存については、然るべき場所に亡失の無いよう保存いただきたい。

重要書類である沿革誌、卒業生台帳、また将来、中郷中学校の卒業生が必要である指導要録等につきましては、清川中学校へ引継ぎ保管いたします。

それ以外の重要書類、備品につきましては、保管先の検討を引き続き行っております。

なお、中郷中学校が歩んできた大切な歴史でありますので、市営博物館「金のすず」に亡失の無いように保管できる状況でございます。

(3) 閉校関係式典について

学校、PTA、卒業生、地区で実行委員会を組織し、閉校記念誌を作成するとともに、閉校式を実施することが決定した。

当然のことながら、これらについては、経費がかかるため、市からの経費負担について、配慮いただけるようお願いする。

平成30年度予算において、閉校関係式典経費等の補助として教育委員会としては、補助金を交付できるよう予算要求をしております。

今後、市全体の予算の関係から財政課による査定等ございますので、金額の決定は、今しばらくの時間をいただくことをご承知願います。

なお、小中学校は「木更津市立」とあるように市が設立し運営していることから、学校の開校式典・閉校式典につきましては、基本、木更津市、木更津市教育委員会が主催して行います。

ただし、地域（地元自治会、まちづくり協議会等）が自ら主催したいとの意向があれば、その意向を尊重いたします。

(4) 跡地の利用について

市から説明のあったサウンディング調査については、実施について了解した。

調査実施について、オープンで行うとともに、出来るだけ、地元が活性化できる跡地利用の決定をお願いする。

また、市が積極的に進めている自主防災組織について、中郷地区では現在1地区しかないが、今後ほかの地区でも組織していく予定であり、そのための機材の保管庫が必要であること、及び地元のイベント開催のための機材を保管する倉庫がないため、保管できる倉庫として使えるところがあればよいとの意見があった。

さらに跡地利用については、今後20年後、30年後の中郷地区まちづくりという将来ビジョンを考えて、進めて欲しいとの意見があった。

サウンディング調査につきましては、11月9日（木）午後3時から申し出のあった事業者5社により、現地説明会が行われ、統合準備会施設整備部会の委員も3名立ちあっていたいただきました。

以下、調査の経緯経過につきましては、別添資料4をご参照ください。

(5) その他出された意見

○統合にあたり中郷中学校から清川中学校へと進学先が変更となる生徒について、特に「いじめ」等ない様に教育委員会に配慮願いたいとの意見あり。

教育委員会として、統合先である清川中学校と協力して中郷中学校区から通学する生徒の対応については、充分配慮したいと考えます。

○統合にあたり中郷中学校から清川中学校へ進学先が変更となる家庭に対して、制服代等の補助をいただけるよう配慮願いたいとの意見があった。

制服代等の補助につきましては、学校運営部会で検討しております。このため学校運営部会で出されております「制服についての補助」にて回答いたします。

以 上